三田市立三田小学校学校通信（人権通信）
けやきの木 ほっこり
人権参観号②
人権道徳教育推進部
2025年
10月16日発行

授業参観（人権参観）にご参加ありがとうございます。

授業参観にご参加いただきありがとうございました。学習の様子や子どもたちのふりかえりをご紹介させていただきます。自分や相手を大切にする人権学習について、学習したことをご家庭でも子どもたちとお話して頂けたらと思います。

１年生 「はしのうえのオオカミ」 これまで橋を通せんぼしてイジワルをしていたオオカミが、ウサギに道を譲るという親切な行動をとったときの気もちについて考えました。「橋を譲ることができていい気もち」「オオカミとウサギがお互いにいい気もちになった」「自分にもこんなことができたんだ」と親切にすることの心地よさを感じることができました。	**２年生** 「みんなでごめんね」 お話の後半で本当のことがわかると自分自身が決めつけた考えをしていたことに気づくことができました。決めつけられた時の動物たちの気持ちを考えることで、「自分が見ていないことを人には言わない。」「よく確かめてから話をしよう。」「間違っていると思ったら、素直に謝ろう。」など、これからの生活で気をつけたいことを交流しました。	**３年生** 「だいこんとにんじん」 だいこんとにんじんの挿絵を使いながら、お話の終わりでだいこんとにんじんがどんなことを考えていたのか問いかけ、「大人数で笑いものにしてしまった」「からかってしまった」など意見が出ました。振り返りでは、「見た目で悪口はよくない」「色や見た目で笑わない」「お互いの町に行って謝る」と、人を見た目で判断するのは良くないことに気づき、仲良く過ごすための方法を考えることができました。
４年生 「いじりといじめ」 身の回りにある「いじり」について考えることを通して、「人によって、感じ方は違う」「自分では『これくらいならいい』と思っていても、いじめだと感じる人もいるかもしれない」という考えが出てきました。「いじり」と「いじめ」は同じではないけど、どちらも相手の気持ちを考えないと、人を傷つけてしまうことがあると気づくことができました。	**５年生** 「ちがいのちがい」 今回の学習を通して、あっても良いちがいとあるとよくないちがいについて、グループでの話し合い活動を取り入れて考えました。子どもたちのふりかえりでは、国の文化や趣味嗜好など物事の多様性としての価値観に対してはあっても良いちがいだが、差別につながるちがいについては、あってはならないちがいだと考えることができました。また、話し合いをすることで考え方の違いにも気づいていました。	**６年生** 「渋染一揆」 今回の学習を通して、権力に立ち向かった村人たちの気持ちについて考え、「差別され続けるよりあきらめず声を上げるほうが良い」「子どもや孫にこんな思いをさせたくない」といった意見が出てきました。覚悟をもって立ち上がり、人間としての誇りを取り戻そうとする村人たちの姿に寄り添う子どもたちの様子が見られました。